

# 官民連携し社会的な課題解決に取り組む。

## 民間の資金とノウハウを使った新たな社会的投資「SIB」

ソーシヤル・インパクト・ボンド(SIB)Ⅱ社会的インパクト投資」という言葉をご存じでしょうか。民間の資金とノウハウを活用し、社会的な課題の解決を目指す枠組みです。枠組みは行政、資金提供者、事業者、中間支援組織の四者で作り、高齢者福祉や生活困窮者の支援など、多岐にわたる課題に取り組みます。SIBの大きな特徴は、行政が事業者へ支払う委託料が成果報酬型であるという点です。財政面のリスクを抑えながら社会的な課題の解決に取り組むことができるSIBには政府も注目しており、今年六月に発表された政府の成長戦略となる「未来都市戦略2018」において、成果連動型民間委託契約方式の普及促進が盛り込まれました。

イギリスで始まったというSIBですが、日本での事例も増えてきています。SIBの現状と日本での展望について、国内外のSIB研究を進める経営コンサルティング会社「プロレド・パートナーズ」(東京都港区)の佐谷進社長に聞きました。七月二日に東証マザーズへの新規上場を果たした同社は、コンサル業界の中で例が少ない成果報酬型を取り入れ、SIBの特徴である成果報酬型ビジネスのノウハウと実績を持っています。

### 佐谷 進 Susumu Satani

株式会社プロレド・パートナーズ代表。同社は「ローコスト戦略」「ターンアラウンド」に強みを持ち、成果報酬にて経営コンサルティングを手掛ける国内唯一の戦略コンサルティングファームである。



### 世界のSIBの現状

二〇一〇年にイギリスで導入されたのが初めてで、これまで先進国を中心に十八カ国以上で導入されています。アジア圏ではインドや韓国、そして日本でもすでに導入事例があります。

### 日本での導入事例

国内では、これまでに少なくとも三件の導入事例があります。神戸市では、糖尿病患者が人工透析治療に移行するのを予防する事業でSIBを導入しています。三井住友銀行が出資し、事業者である健康関連産業のベンチャー企業が、糖尿病患者に食事療法の保健指導や生活習慣の改善指導を行っています。このケースでは①保健指導プログラムの修了率②生活習慣の改善率③腎機能低下の抑制率を成果指標に掲げ、その指標の達成率に応じて神戸市から事業者が委託料が支払われます。患者が人工透析治療に移行するのを予防することで、市民生活の向上や医療費の適正化が期待できます。

### プロレド・パートナーズがSIBに取り組む理由

弊社は事業を始めた二〇〇八年以来、業界では珍しい成果報酬型でコンサルティングサービスを提供してきました。SIBの大きな特徴である成果報酬型の仕組みに、これまで培ってきた成果報酬型ビジネスの知見を生かすことができます。また、コンサルティング業によく見られる「報告書を書いておしまい」という関わり方ではなく、課題解決のための折衝などにあたる実行部隊を備えているのも弊社の特徴で、自治体の皆さまと汗をかきながら課題解決に取り組むことができます。

### SIBの対象分野・領域

神戸市のような医療福祉関係以外にも、兵庫県尼崎市では、ひきこもりの若者の就労支援でSIBが導入されています。まだテスト事業ですが、生活保護費の削減や、若者の就労による税収増など、行政コストへの影響を検証していく予定です。地方の公共交通機関の運営などにもSIBを利用できると考えています。事業の成果評価は第三者機関が客観的に事業分析を行います。

### 行政のSIB導入メリット

これまでは事業の成果が出なくても行政が事業者へ支払う委託料は固定されていましたが、成果報酬型が特徴のSIBでは、達成率が低ければその分支払う金額が減ることになり、行政の財政的リスクが従来と比べて低くなると言えます。また、正確な成果測定のための情報整備などは行政の透明性に直結し、社会へのアピールにもつながります。

### SIBが国内で普及するために

まずはSIBがどういうものなのかを知っていただき、事例を作る必要があると考えています。問題意識の高い意欲的な自治体が先導して事例を増やすことにより、日本の行政規模やルールに即した独自の枠組みも作れるはずです。弊社では、国内外の導入事例の報告・研究や自治体の皆さまとSIBのニーズを探る勉強会の実施も計画しています。地域の課題解決に向けて一緒に取り組みましょう。